

まだ食べられる食品を使いたい人の元へ

カスミのフードバンク活動

安心と笑顔を「食」でつなぐ 地域の子ども食堂

お腹をすかせた子どもたちに、食事を提供する子ども食堂。茨城県龍ヶ崎市の認定NPO法人「NGO未来の子どもネットワーク」もその一つです。カスミは子どもの貧困問題解決と食品ロスの削減のために、子ども食堂への食品寄付を通じフードバンク活動を推進しています。

みんなで持ち寄り みんなで食べる

いま日本は子どもの7人に1人が貧困状態にあります。こうした中、お腹をすかせた子どもたちに無料または安価で栄養のある食事や団らんを提供する「子ども食堂」の取り組みが全国で広がっています。

その中の一つ、茨城県龍ヶ崎市の認定NPO法人「NGO未来の子どもネットワーク」は週5回、貧困や虐待などの

事情を抱えた未就学児から高校生を対象に子ども食堂と無料学習塾を開いています。代表の笠井広子さんを中心に、有志が集まって2014年から運営を継続。現在は約80名のボランティアが登録し、地域の子どもたちのために活動しています。

訪れたこの日は10月31日のハロウィン。調理室ではボランティアのお母さんたちが和気あいあいと、でも忙しそうに料理をつくっていました。材料の多くは寄付で賄っています。ふと見ると調理室の入り口には、なにか「診療時間」の案内プレート。建物は閉院になった地元の医院が無償で提供してくれているのです。

「ただいま」。夕方になると子どもたちが学校から帰ってきました。ランドセルを放り投げ、じゃれ合ったり、輪になつて遊んだり。子ども食堂には子どもたちの歓声があふれています。

一段落したところでみんなで食事。この日のメニューはハロウィンに合わせて手づくりハンバーガーとさつまいものステイクフライ。ボランティアのお母さんたち



コロナ禍で子どもたちが集まれなくなったためお弁当をつくって宅配しました



ハロウィンのメニューはお母さんたちの手づくりハンバーグ!



下駄箱からも元気な「ただいま」の声が聞こえてきそう



認定NPO法人「NGO未来の子どもネットワーク」
2014年から茨城県龍ヶ崎市の閉院になった医院で子ども食堂、無料学習塾を開設。制服やランドセルの支援、食品や日用品の宅配、海外の子どもたちへの支援など貧困世帯の子どもへの支援活動を幅広く実施している。会員数約100名、ボランティア登録者数約80名。



子どもたちが帰ってくる前に調理をするボランティアのお母さんたち

*1)厚生労働省の調査によれば、日本の子どもの貧困率は13.5%。18歳未満で平均的な所得の半分(127万円)未満の世帯で暮らす子どもが増えている。学力や健康にも影響を及ぼし、社会問題化している。

*2)SDGs(エシティージーズ:持続可能な開発目標)とは誰一人取り残さないを理念に地球環境、地域社会、人間の暮らしをよくするために国連で合意した世界共通の目標。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



その日あつたことなどを話しながらボランティアのお母さんたちと楽しそうに晩ごはんを食べる子どもたち

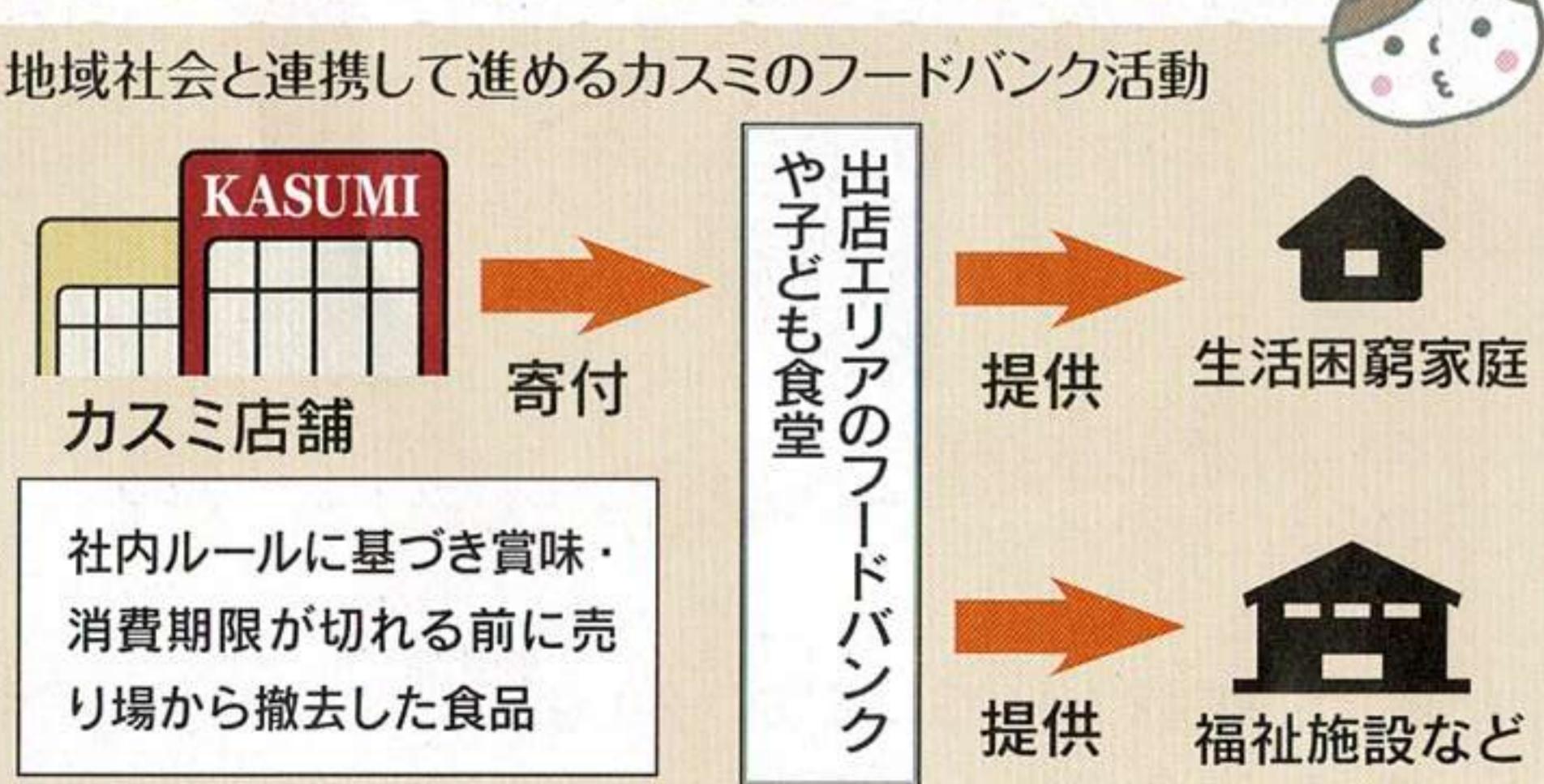
誰一人取り残さない 地域社会のために

が子どもたちのリクエストに応えたメニューです。SDGs^{※2}を学ぶために参加したという地元の高校生も加わり、子どもたちと楽しそうに食卓を囲んでいました。

「子どもたちの役に立ちたくて」と、定年退職後にボランティアスタッフとして子ども食堂を手伝っているお父さん(写真①左)。ふだんは子どもたちに勉強を教えたり、送迎車の運転もしていますが、この日は近隣にあるカスミの店舗7軒を回ります。月2回、カスミが寄付する食品を受け取るためです。

カスミは2016年11月から出店エリアでフードバンク活動を続けており、2020年11月末現在112店舗で実施しています。フードバンク活動とは品質上問題なく安心して「まだ食べられる」にもかかわらず、賞味・消費期限の管理のため廃棄される食品を、子ども食堂や福祉施設など必要とする人の元に寄付する活動。この日は缶詰、菓子、飲料などを寄付しました。全国に約4千ヵ所ある子ども食堂が難しくなりました。認定NPO法人「NGO未来の子どもネットワーク」も感染拡大を防ぐため3月初旬、コロナ禍で子どもたちが集まることができなくなつたため、食堂をお弁当に変えて宅配で活動を続けました。そんな中、子ども食堂を利用していない、コロナ禍で影響を受けられ、4月からお弁当を届ける活動を拡大しました。

カスミは「誰一人取り残さない」というSDGs達成に向け、これからも食品ロスの削減や貧困など社会課題の解決に地域の皆さんと一緒に取り組んでいきます。



①寄付食品を受け取るボランティアのお父さん(左)②子ども食堂に運び込まれた食品はボランティアのお母さんたちで仕分け③カスミの店舗を回るのは月2回

